

令和2年 北海道内で発生した熱中症

(令和2年12月末現在)

北海道労働局労働基準部健康課

	発生日		発生時刻	業種	年代	休業程度(日)	気温	発生時の作業
				発生地			屋内・外	
1	5	29	15	3.1	50	7	22	道路工事現場で舗装工事中に倒れ、病院に搬送したところ、熱中症と診断された。
				石狩			屋外	
2	6	10	15	3.2	40	2	27	4解建てアパートの新築工事現場において、型枠組立て作業中、汗が止まらず、手足が突っ張るような状態となったため、休憩し水分を摂取していたものの、状況が改善されず手足に強い痙攣が生じたため、救急車で医療機関へ搬送され、熱中症の診断を受けたもの。
				石狩			屋外	
3	7	9	14	1.16	20	1	26	屋外における電気メーターの維持管理業務中、自動車と徒歩での移動を繰り返していたところ体調不良となり吐き気を催した。このため作業を一時中断したがその後も体調が回復せず、医療機関を受診する。
				石狩			屋外	
4	7	10	11	17.1	20	3	24	派遣先の胆振振興局管内の事業場の畑内にてブロッコリーの収穫作業中、外での作業(24)で、水分は取っていたが朝食を食べていなかったところ、過喚気症候群と熱中症を併発し失神し、病院へ搬送された。
				胆振			屋外	
5	7	20	14	17.2	10	1	31	現場での警備中、13時55分頃に不調を訴えた。
				上川			屋外	
6	7	20	14	3.1	70	7	30	排水路の補修工事において、排水路内作業中、体調不良を訴え、病院で熱中症と診断された。
				空知			屋外	

	発生日			発生時刻	業種	年代	休業程度(日)	気温	発生時の作業
					発生地			屋内・外	
7	7	20	16	3.3 上川	20	2	31 屋外	高圧線張替工事を終え帰社後、17時50分に不調を訴えた。	
8	7	21	11	15.1 石狩	30	1	25 屋外	家庭ごみの収集作業中に気分が悪くなり、手足にしびれを感じた。	
9	7	22	16	8.2 石狩	30	1	30 屋外	自動販売機入替作業を行っているときに体調に異変を感じ、休憩しようとしてトラックのドアに乗り込もうとしたが足が痙攣しその場で倒れこんだ。	
10	7	31	11	6.1 後志	50	1	26 屋外	ミニトマトの収穫作業中、ピニールハウス内で倒れたため、家族と一緒に地域の診療所を受診したところ、「熱中症の疑い」と診断されたため、そこから救急車で余市協会病院に救急搬送されたもの。	
11	8	1	11	4.3 オホーツク	40	15	27 屋外	8月1日、被災者はトラック運転手として、屋外での人力荷役作業に2時間程度従事した後、帰宅した。休日であった8月2日の夕方から痙攣等の症状が出始め、8月3日に病院を受診したところ熱中症の診断で即時入院となった。	
12	8	3	17	7.1 胆振	60	3	不明 屋外	鶏卵の集卵作業場で汚れた卵を50のお湯で洗っており、高温多湿の環境で長時間作業したため、終了後着替えて座ったところ気を失った。このため同僚らが救急車を呼び、熱中症と診断された。	
13	8	4	14	4.3 石狩	40	1	27 屋外	トラック荷台に荷の積み込み作業中、めまい、頭痛がしたため作業を中止し休憩したが、改善しないため病院を受診したところ、熱中症と診断された。	

	発生日		発生時刻	業種	年代	休業程度(日)	気温	発生時の作業
				発生地			屋内・外	
14	8	5	10	14.3 石狩	60	1	28 屋外	ゴルフ場のキャディーとして業務中、具合が悪くなり、脇の下を氷で冷やしながら様子を見たが吐き気が止まらないため、救急車を要請し熱中症と診断された。
15	8	12	12	11.1 胆振	20	3	28 屋外	午前の配達業務を終えて休憩中に体調に異変を感じて静養していた。当日中に回復したため業務復帰したところ、再度体調不良になり救急車で搬送。熱中症と診断された。
16	8	12	12	15.1 根室	30	4	30 屋外	一般廃棄物収集業務中。
17	8	18	9	17.2 石狩	70	14	23 屋外	交通誘導業務中、体調不良となり倒れ、病院に搬送したところ、熱中症と診断された。
18	8	18	10	3.2 渡島	50	13	25 屋外	被災者は、牛の糞尿貯留槽底板部のコンクリート打設中に突然倒れた。病院で熱中症と診断された。
19	8	18	13	3.3 胆振	30	4	25 屋外	午前中、屋外で配管等の取り付け作業を行い、車内でエアコンをつけて昼食休憩中に体調不良を訴えたため同僚が病院に搬送。熱中症及び腎機能の低下を診断され入院治療した。
20	8	18	16	3.2 空知	40	3	26 屋外	基礎型枠の解体作業中、被災者は体調不良を訴え、病院で熱中症と診断された。
21	8	18	16	3.3 十勝	50	1	30 屋外	屋外でのボーリング作業中、体のだるさを感じ、翌朝も体のだるさが残っていたため、病院に行き、熱中症であることが判明した。

	発生日		発生時刻	業種	年代	休業程度(日)	気温	発生時の作業
				発生地			屋内・外	
22	8	19	13	4.3	30	6	34	市場内で牛を引く作業中に足がつり、作業終了後にトラックに乗車する際、全身がつった状態になって運転できない状態となり、熱中症による肝機能低下でそのまま入院となった。
				十勝			屋内	
23	8	19	14	17.2	50	2	30	国有林野において立木調査を行っていたところ、脱水症状により全身に、筋肉の攣れが発生した。
				十勝			屋外	
24	8	19	16	3.1	50	3	29	終業時刻後、体のだるさを感じ病院に行った。この日、15:30までブロックの型枠の組立て等の作業をした。
				胆振			屋外	
25	8	19	16	1.8	60	5	45	被災者は朝から30分おきに休憩を取りながら、ごみ焼却施設内で排ガスの測定作業を行っており、夕方の作業終了間近に体調が悪くなったため休憩させたが、改善が見られないため病院へ搬送したところ熱中症と診断されたもの。
				空知			屋内	
26	8	19	16	15.1	30	1	29	一般廃棄物収集業務中。
				根室			屋外	
27	8	21	14	17.2	60	90	21	被災者は、同僚1名と、道路上での交通誘導業務を行い、その業務が終了したので、同僚の車に乗り移動中、嘔吐等したため救急搬送された。その後、熱中症と診断された。 なお、病院搬送後、被災者は熱中症と、高血糖等の熱中症以外の診断を受け治療したものである。
				渡島			屋外	

	発生日		発生時刻	業種	年代	休業程度(日)	気温	発生時の作業
				発生地			屋内・外	
28	8	24	16	8.2	30	2	26	店内でレジや品出し作業を行っていたが、店内の温度が高く、倦怠感や吐き気に見舞われたため、当日は早退し、翌日に受診したところ熱中症と診断された。
				空知			屋内	
29	8	26	15	3.2	10	1	32	マンション新築工事現場で型枠工事で入場し、スラブ型枠の組み立ての段取り作業中に、頭痛を訴え病院へ搬送した。
				石狩			屋外	
30	8	27	10	4.3	40	1	33	馬運車にて輸送後、洗車時に気分が悪くなり室内にてエアコン等をかけて休んでいたところ、さらに体調が悪化し救急搬送されたもの。
				道外			屋外	
31	8	27	14	1.17	30	死亡	32	被災者は、事業場内において同僚と原皮をパレットに乗せる作業を行っていたところ、同僚が被災者の顔色が悪いことに気づき休憩を指示し、被災者は歩いて休憩室まで向かったが途中で倒れ、救急搬送されたものの熱中症で死亡したものの。当日の最高気温は約32度であった。
				十勝			屋内	
32	8	27	15	7.1	50	3	25	馬の手入れをし、草刈り機で牧場敷地を草刈りした後に体調が悪化し、病院にて熱中症と診断されたもの。
				日高			屋外	
33	8	27	16	11.1	50	3	30	被災者はバイクで郵便配達中にめまいと息苦しさが生じたことから病院を受診したところ、熱中症と診断されたもの。
				空知			屋外	

	発生日		発生時刻	業種	年代	休業程度(日)	気温	発生時の作業
				発生地			屋内・外	
34	8	28	10	3.1	40	2	26	被災者は、河川土木工事現場の作業に従事していたところ具合が悪くなった。休憩したところ一旦回復したが昼食時に腹筋が痙攣を起こしたため病院へ搬送され熱中症と診断された。
				オホーツク			屋外	
35	8	28	12	11.1	20	1	31	バイクに乗り郵便の配達中に熱中症の症状が出たため病院を受診した。
				石狩			屋外	
36	8	28	13	3.1	50	3	29	被災者は、起重機船甲板上で資材の片づけ中、熱中症を疑う症状で倒れ、3日入院した。
				渡島			屋外	
37	8	28	13	1.1	50	10	40	冷凍搬送室で清掃作業中、脱水症状となり、筋肉硬直が悪化し、緊急搬送された。
				十勝			屋内	
38	8	28	14	12.1	60	2	32	玉ねぎの収穫作業中から吐き気や目まいの症状があり、帰宅後に吐き気が強くなって、翌日になっても吐き気が収まらないため受診したところ、熱中症と診断された。
				空知			屋外	
39	8	29	15	3.1	60	30	31	運転手の被災者は、午前中から土場で資材整理の業務を行い、午後にリースの発電機をトラックで運んで返却し、土場に戻る際中、めまいを感じて救急車で運ばれた。被災者は熱中症、急性腎不全(脱水を伴う)と診断された。
				渡島			屋外	
40	9	2	14	3.1	50	1	24	U型側溝の設置作業中、被災者は体調不良を訴え、病院で熱中症疑いと診断された。
				空知			屋外	

	発生日		発生時刻	業種	年代	休業程度 (日)	気温	発生時の作業
				発生地			屋内・外	
41	9	4	14	13.2	50	1	30	被災者は、畑でしその収穫、D形ハウス内で選別・加工作業を行い、14時頃頭痛・吐き気の症状が出た。その後帰社し、17時頃ロッカー前で倒れているところを他の従業員が発見。病院へ搬送され熱中症と診断された。
				オホーツク			屋外	
42	9	5	10	6.1	20	1	27	南瓜畑で南瓜収穫中、めまい、吐き気、体に力が入らず動けなくなり、すぐに病院へ搬送され、熱中症と診断された。
				後志			屋外	
43	9	8	8	3.2	40	2	31	個人住宅の舗装工事において、アスファルトの敷き均し作業中、目眩と吐き気が発症し、熱中症にり患したものの。
				上川			屋外	
44	9	8	8	3.2	50	1	31	個人住宅の舗装工事において、アスファルトの敷き均し作業中、目眩と吐き気が発症し、熱中症にり患したものの。
				上川			屋外	
45	9	8	14	13.2	50	4	36	障害者支援施設において、利用者の布団をクリーニング工場の乾燥室へと運ぶ作業中に体調が悪くなったもの。
				日高			屋内	
46	9	17	12	3.2	20	1	24	被災者は新築工事現場において、屋外で重機を用いた掘削作業の手元補助として業務に従事していたところ、体調不良となり、休憩所前の廊下で倒れているところを発見されたもの。
				石狩			屋外	

	発生日		発生時刻	業種	年代	休業程度 (日)	気温	発生時の作業
				発生地			屋内・外	
47	11	25	18	3.2	20	13	20	ごみ処理場の休止中の焼却炉内において、耐火材の吹付作業の補助を行っていたところ、具合が悪くなり救急搬送されたもの。当時、炉内の湿度は90%。
				日高			屋内	

備考

- 1 発生地は総合振興局・振興局単位です。
- 2 気温の欄は、最も近い地点の気象庁の記録を用いています。
- 3 網掛けは休業4日以上です。